

令和元年 11月20日 (水曜日)

「建設産業再生」「インフラ再生」 2本柱で活動展開 足立参院議員を励ます会

元国土交通省技監の足立敏之自民党参院議員を「励ます会」が18日、東京都内のホテルで開かれた。所属する宏池会（岸田派）の古賀誠名誉会長や岸田文雄会長（自民政調会長）、建設業界関係者らが出席。大規模な自然災害が相次ぐ中、国土防災を専門とする国会議員としてさらなる活躍に期待を込めた。足立氏は「建設産業再生」と「インフラ再生」の2本柱で活動すると誓った。

励ます会の発起人を代表して後援会長の陣内孝雄元参院議員があいさつした後、協雅史元参院議員は「国土が抱える災害リスクを認識して国策をどう打っていくか。厳しい財政状況の中でも国民的な議論を合意していく。足立先生には専門家として頑張ってもらいたい」と激励した。佐藤信秋参院議員は「足立先生は着々と仕事をし、大きな役割を担っている。これからが大事。建設産業の職域代表とますます活躍してもらいたい」と述べた。

先生は防災・減災、国土強靱化のため先頭に立ち頑張っていたらいい。河川分野のパイオニアだ。国民生活の防衛の大きな分野を任せることができる」と期待を寄せた。岸田氏は「災害対応について党内の議論をリードしていただいている。国土交通部会の副部長として、本年度補正予算や来年度予算の編成、税制改正の議論できちんと物を言う。期待している」と激励した。

日本建設業連合会の山内隆司会長は「足立先生は1日も早い復旧・復興に向けて被災地に寄り添って活動している。国土防災に関する豊富な知識と、これまで積み重ねた経験に基づく卓越した手腕を発揮していただくよう期待している」と述べた。林方正参院議員（宏池会座長）、世耕弘成参院議員（参院自民幹事長）、根本匠衆院議員（自民公共工事品質確保に関する議員連盟会長）、近藤晴貞全国建設業協会会長もあいさつし、足立氏にエールを送った。

「建設産業再生」と「インフラ再生」の2本柱で活動すると誓った。

励ます会の発起人を代表して後援会長の陣内孝雄元参院議員があいさつした後、協雅史元参院議員は「国土が抱える災害リスクを認識して国策をどう打っていくか。厳しい財政状況の中でも国民的な議論を合意していく。足立先生には専門家として頑張ってもらいたい」と激励した。佐藤信秋参院議員は「足立先生は着々と仕事をし、大きな役割を担っている。これからが大事。建設産業の職域代表とますます活躍してもらいたい」と述べた。

日本建設業連合会の山内隆司会長は「足立先生は1日も早い復旧・復興に向けて被災地に寄り添って活動している。国土防災に関する豊富な知識と、これまで積み重ねた経験に基づく卓越した手腕を発揮していただくよう期待している」と述べた。林方正参院議員（宏池会座長）、世耕弘成参院議員（参院自民幹事長）、根本匠衆院議員（自民公共工事品質確保に関する議員連盟会長）、近藤晴貞全国建設業協会会長もあいさつし、足立氏にエールを送った。

足立氏は「建設産業再生」に向けて公共投資の量と質の確保に引き続き全力を注ぐとした上で、「『インフラ再生』をもつひとつの柱とする。毎年のように激甚な災害が起きているのは、この20年間投資をおろそかにした、そのつげが来ている。脆弱（ぜいじゃく）な治水や砂防のインフラをしつかり立て直す。高速道路や港湾、空港は欧州だけでなくアジア諸国にも負けている。老朽化もどんどん進んでいる。日本のインフラを海外と比べても恥ずかしくない領域にしていきたい」と強調。建設産業再生とインフラ再生を引き続き訴えていくと誓った。



励ます会であいさつする足立参院議員。18日夕、東京都千代田区のホテルグランウドパレス

古賀氏は「足立

古賀氏は「足立